

犬ヶ岳・津民川地域の植物 ～溪谷～



溪流辺の紅葉

犬ヶ岳から雁股山に続く尾根の南側には、山国川の浸食により形成されたいくつもの溪谷があります。尾根周辺の断崖下に刻まれた谷の地形は、極めて急峻で不安定なため、谷型の森林はそれほど発達していません。また、比較的開けた谷の傾面には、そのほとんどにスギが植えられ、人工林となっています。しかし、溪谷沿いにわずかに残された自然林には、多くの貴重な植物が今も生育しています。

豊富なシダ植物

この地域に生育するシダ植物は135種類。県内屈指のシダ植物の宝庫です。九州の北部に位置することから、主に本州の温帯域に生育するナガホノナツノハナワラビや、九州ではここだけでしか確認されていないサカゲイノデなど分布上貴重なものも少なくありません。



サカゲイノデ [IB]



ナガホノナツノハナワラビ [IA]



ツクシオオクジャク [IA]



コバノフユイチゴ



ヤマトウバナ



メグスリノキ



サワグルミ

特徴的な植物

尾根周辺の断崖下の谷の急斜面には、シオジやサワグルミ、ケヤキなどが優占する自然林がわずかに残されています。ここには、ホソバナコバイモやコバノフユイチゴ、クロタキカズラといったこの地域を代表する溪谷の植物が数多く生育しています。



ホソバナコバイモ [IB]



寄生植物のキヨスミウツボ [II]



フタバアオイ [準]



クロタキカズラの果実



クロタキカズラ



オオチャルメルソウ



ユリワサビ [II]



犬竿峠下辺の谷